

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルファクトリー稲毛海岸		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日		～ 2026年 3月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		～ 2026年 3月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	約13年近く運営を行っている	地域に根付いているということもあり、様々な情報を得やすい環境になるため、それらを利用者へお伝えしている 長く利用している児童が多く慌ただしさが少なく、利用に対して慣れている部分が多い	今後も常に情報を共有していく 慣れている分新しい活動プログラムを取り入れ新しいものを提供していく
2	社会にでるための力を身に付けてもらうような活動内容を提供している	今だけではなく将来社会に出た際に困らないような能力を身に付けてもらうようにしている 例：あいさつや自主性を強める	外部研修等に参加して新たな知識を得て、それらを職員間で共有し児童へ提供をしていく
3	系列施設との横のつながりがある	児童発達～放課後等デイサービスを利用という流れがスムーズである 行事等を通じ他地域の子どもさんと関わり合いを持つ	今後も交流を図り児童だけでなく他施設の職員にも自施設の児童を知ってもらう場を増やしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障がいの特性が様々なため個々にレベル差が生じてしまうことが多い	障がいの特性の把握と能力の把握そして伸びしろの把握	個々の理解度や特性に合わせて活動内容の共通化の部分と差別化の部分とを切り分けてサービスを提供していく
2	送迎時に保護者の方と関わりを持つ時間が少ない場面がある	送迎時間の設定をしているため保護者の方と沢山話時間が取れないことがある	送迎時間やルートなどを調整し保護者の方と話す時間を設けるようにしていく
3	近隣に公園があるが出かけられない日が多い	天気や利用児童の体調・下校時間の兼ね合いなどが考えられる	保護者や利用児童からも希望があるため状況で課外活動を多く行っていきたいと考えている

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スマイルファクトリー稲毛海岸

公表日 R8年3月23日

利用児童数 26

回収数 24

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	5		1	近隣の公園などにも遊びに出かける機会をもっと設けていただきたいです	お天気や利用者さんの体調などを考慮しながら課外活動も今後増やしていきます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21			3	もっと人数多くてもよいと思います	今後増員などを検討させていただきます
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1		2		障がいの特性に合わせた環境設定を行いつつも、マンネリ化しないように工夫を今後もしてまいります
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1		1	個別活動の内容をもっと知りたいです	内容や活動の意図を保護者の方にもよりわかりやすいようにお伝えいたします。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23			1		内容や活動の意図を保護者の方にもよりわかりやすいようにお伝えいたします。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1				今後もより保護者の方やお子さんからの聞き取り等を行い計画書に反映させていただきます
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1		1	抽象的な表現が多いような内容だったと思います	計画書の内容をより具体的に行い、保護者の方に伝わりやすい計画の作成を継続して行います
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21			2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20			4	その時期に合わせたイベントを取り入れてくださり、子どもが季節感を感じられていると思います	SNSだけでなく写真などのツールでよりプログラム内容をお知らせいたします。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	4	1	9	求めています	課外活動などを通じ地域交流などを行いますが、無理のない範囲で行ってまいります
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	1	1	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	3	1	4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	23			1	より個人の様子がわかるとありがたいです。個人面談の回数を増やしてもらいたいです。	連絡帳やLINEなどのツールを活用しより様子を具体的に伝えたいです
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	2				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	1				
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	4	2	5	兄弟が参加できるようなイベントも企画してもらいたい	スマイル合同のイベントを開催した際には兄弟の方の参加も可能ですのでお待ちしております	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	2		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23			1	全体の活動だけではなく個人の普段の様子 子がわからないことが多い	連絡帳やLINEなどのツールを活用しより 様子を具体的にお伝えいたします
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	1		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22			2		
非常時等の 対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	4		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	3		4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	3		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1		3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	1			日頃の様子を知れる機会が少ない所は不安に 感じていますが、ルールを守るなどの社会性 が身についていると感じます	日頃の様子を連絡帳だけでなく帰りの送 迎の際に時間を取り話をする場面を多く 設定いたします

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スマイルファクトリー稲毛海岸				公表日	8年 3月 23日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		適正と感じるがさらに広くよりスペース確保が出来るとよいと考えている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			専門資格を持つ職員の配置などを検討	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		児童の特性に応じて臨機応変に対応するようにしている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		環境整備を常に行い、改善箇所についてはすぐに取り組む		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		仕切りやカーテンなどを使用し、児童希望時等に環境を変えることが出来るように設定している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		全職員が理解をしている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に2回以上のアンケートや面談を行っている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		施設内だけではなく会社としても意見の把握に努めている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	現在行えていない	今後検討していく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		研修の機会を職種ごとに2か月に1回以上の確保 全職員に対して年2回以上の研修の確保		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		HP上に公表		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントを行っているが今後もより意見を取り入れた支援を心がけていく		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		定期的な担当者会議だけではなく、日々の業務の中でも話し合いを行っている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		職員間で共有及び共通認識を持っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		全職種で検討している		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定化を希望する児童もいるが変化をつけ提供している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		勤務時間内で話し合いや振り返りを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録をとり保管し、希望者には記録内容の開示等も行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			現状出来ていないが今後体制を整えていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者の方を通じてや学校送迎時に担任と連絡調整を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		現状は系列児童発達支援事業所とのみ行っている	今後は他機関とも連携を検討していく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			現状出来ていないが今後体制を整えていく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			現状出来ていないが今後体制を整えていく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者会の開催を今年度は行ったが、そのほかの場でも研修等の場を開催していきたいと考えている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		同意を得て行っているが今後より説明の機会をより設けるようにしたいと検討している	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会の開催を行った。好評だったため来年度も開催予定	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		適切な対応と共に何でも相談できるような信頼関係の構築や情報提供を心掛けている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月初に情報提供を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		留意して行っている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		配慮をして業務を遂行している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現状出来ていないが今後体制を整えていく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		策定して周知している。また年間を通じて県連も行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		策定して周知している。また年間を通じて県連も行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントにて把握を行う	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アセスメントにて把握を行う	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内だけではなく法人内でも共有し、再発防止に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し適切な対応をしている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に最低限の安全確保のためにやむを得ず行っていることを伝えている		